

あわてない・あせらない・あなどらない

急なトラブルにあわてたり、時間にあせったり、慣れたから大丈夫と、あなどったりしたことはありませんか？
『あわてる・あせる・あなどる』といった心理状態ではルール遵守や周囲の確認がおろそかになり、
大きなケガにつながる行動をしてしまう原因にもなります。
実際にケガが起こった事例を確認し、日々の作業で思い当たる行動がないか振り返ってみましょう。

●心理的な要因による行動からケガを起こした事例

事例1. あわてた行動によるケガ

作業内容	中華まん焼き印を押す機械作業
状況	焼き印の手前で中華まんが詰まるトラブルが発生。詰まった中華まんを取り除く際に機械を停止せずに手を入れ、焼き印部分の側面に左腕が触れて火傷を負った。

⇒中華まんが詰まるという急なトラブルが起こり、あわてた。

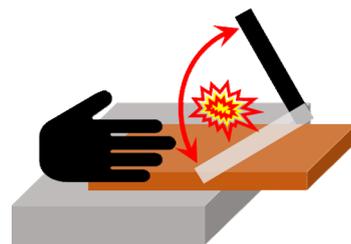


左腕火傷

事例2. あせった行動によるケガ

作業内容	手動裁断機による裁断作業
状況	板材を裁断中、板材に添えている左手の人差し指が裁断部分に出ていることに気付かず裁断を行い、裁断機の刃で左手人差し指を切った。

⇒終了時間が迫っていたため、早くしようとあせった。



左手人差し指切傷

事例3. あなどった行動によるケガ

作業内容	モップ掛けによる床の清掃作業
状況	床に飛び散った油をモップ掛けで清掃中に、床に付着した油で右足を滑らせて転倒し、右ひざと右足を強打。床は平面で製品等が置かれている場所ではなかった。

⇒普段から慣れた作業で『大丈夫だろう』と、あなどった。



右ひざ打撲・右足首靭帯損傷

●安全な行動を意識するためのポイント

1. 突然のトラブルでも・・・あわてずに『機械を止める』・『責任者を呼ぶ』・『指示を待つ』ことを意識して行動しましょう！
2. 急いでいる時でも・・・あせらずに『手順を守る』・『周囲を確認する』ことを意識して行動しましょう！
3. 慣れた作業でも・・・あなどらずに『ケガをするかもしれない』ことを意識して行動しましょう！

『あわてず』・『あせらず』・『あなどらず』を意識して安全な行動を！

※参考元：厚生労働省 栃木労働局『Aない声かけ運動』

★今月の安全衛生川柳～あわてる・あせる・あなどる『あぶない行動』は危険を大きくします！

考えて あせる気持ちが 事故のもと 北大阪支店 スタッフさんの作品

※安全衛生川柳を募集しています。詳しくはトコトコランドをご覧ください。

